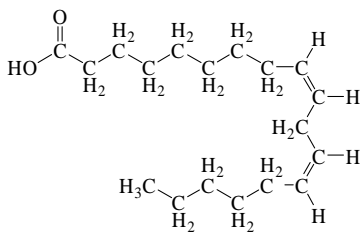
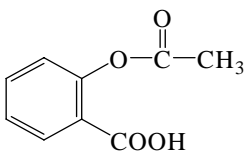
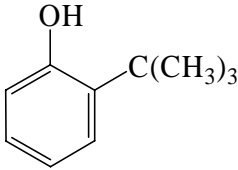
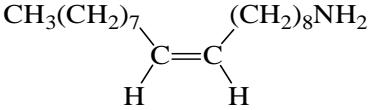
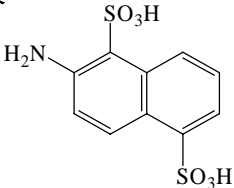
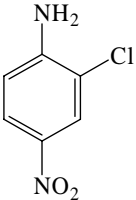
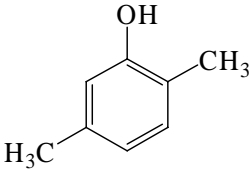
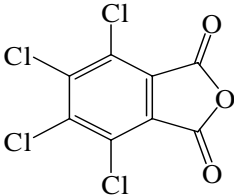
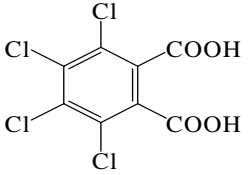
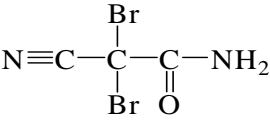
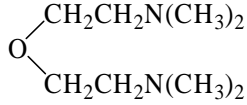
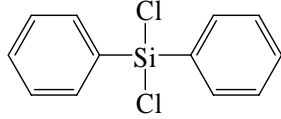
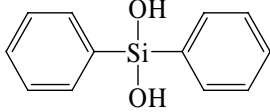
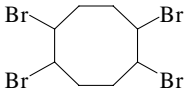
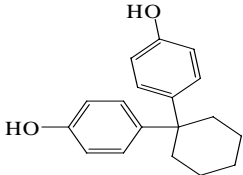
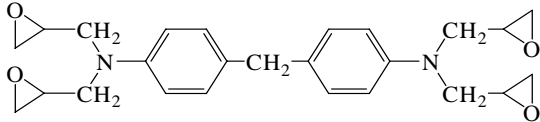
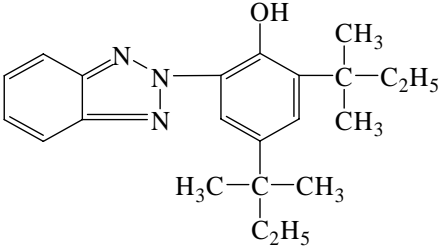


K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1258E	1-ペンタノール (71-41-0) 2-0217  <chem>CH3(CH2)4OH</chem>	BOD : 87, 95, 94 (92) TOC : 100, 98, 99 (99) G C : 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	1
1779	(Z,Z)-9,12-オクタデカジエン酸 (60-33-3) 2-0609  	BOD : 84, 79, 78 (80) G C : 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	3
1780	N-メチルアミノ酢酸ナトリウム (4316-73-8) 2-1206  <chem>CCNC(=O)[O-].[Na+]</chem>	BOD : 83, 64, 69 (72) *1 TOC : 97, 84, 86 (89) HPLC: 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	5
1783	2-ブテン-1,4-ジオール (110-64-5) 9-1161  <chem>HO-CH2-CH=CH-CH2-OH</chem>	BOD : 65, 55, 52 (57) TOC : 85, 84, 71 (80) G C : 86, 84, 71 (80) 逆転条件 (参考データ) TOC : 98, 97, 100 (99) G C : 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	7
1784	o-アセトキシ安息香酸 (50-78-2) 3-1652  	BOD : 88, 83, 88 (86) TOC : 99, 99, 94 (98) HPLC: 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	9

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
81C	<i>o</i> -tert-ブチルフェノール (88-18-6) 3-0503 	BOD : -3, -4, -4 (0) *2 TOC : 35, 40, 25 (33) HPLC: 32, 39, 23 (31)	3.74*4 (pH4.0)  3.42*3		難分解性	濃縮度試験	11
762D	(Z)-9-オクタデセン-1-アミン (112-90-3) 2-0133 	BOD : -3, -5, -5 (0) *2 G C : 7, 3, 7 (6)	7.50*3		難分解性	濃縮度試験	13
1782	2-アミノ-1,5-ナフタレンジスルホン酸 (117-62-4) 4-0501 	BOD : -1, 4, -1 (1) TOC : 2, 8, 5 (5) HPLC: -1, -1, -1 (0)	-1.85*3		難分解性	濃縮度試験	15
246B	2-クロロ-4-ニトロアニリン (121-87-9) 3-0407 	BOD : -4, -5, -3 (0) *2 TOC : 4, 3, 3 (3) HPLC: 1, 0, 1 (1) *2	1.9 (pH8.0) (HPLC法)  2.12*3	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性で はない	なし	17
1227D	2,5-キシレノール (95-87-4) 3-0521 	審議済 (難分解性) (平成17年11月18日) BOD : 0, -1, 0 (0) TOC : 2, 3, 1 (2) HPLC: 3, 2, 1 (2)	2.6 (pH3.0) (HPLC法)  2.62*3	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	20
1476	四塩化無水フタル酸 (117-08-8) 3-1423 	審議済 (難分解性) (平成14年3月22日) BOD : 0, 0, 0 (0) TOC : 0, 0, 1 (0) HPLC: 100, 100, 100(100) 被験物質は変化して、3,4,5,6-テ トラクロロフタル酸を生成し、残 留した。	4.65*3	テトラクロロフタル酸から類 推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	23

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1476変	テトラクロロフタル酸 (632-58-6) 3-0062 	-	3.2 (pH1.0) (HPLC法)  3.65 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	高濃縮性ではない	なし	25
1587	2-シアノ-2,2-ジブromoアセトアミド (10222-01-2) 2-2795 	審議済(難分解性) (平成14年1月29日) BOD: 0, 0, 0 (0) TOC: 20, 14, 10 (15) HPLC: 100, 100, 100(100) 被験物質は試験液中で消失し、臭化物イオンが20~2%、アンモニア態窒素が50~53%生成し、残留した。 変化物(LC-MSによる推定)として、2-ブromopropanアミド、2,2-ジブromopropanアミド、2-ブromo-2-シアノアセトアミド及び2,2-ジブromoアセトアミドが生成し、残留した。	0.5 (pH7.0) (HPLC法)  1.01 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	28
1628	ビス(2-ジメチルアミノエチル)エーテル (3033-62-3) 2-0390 	BOD: 0, 0, 0 (0) TOC: 2, 3, 4 (3) LC-MS: 6, 7, 0 (4)	1.1 (pH11.0) (HPLC法)  -0.54 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性ではない	なし	31
1640	ジクロロジフェニルシラン (80-10-4) 3-2634 	審議済(難分解性) (平成17年9月30日) BOD: 0, -1, 0 (0) GC: 100, 100, 100(100) 被験物質は試験液中で加水分解し、ジフェニルシランジオール(3-2638, logkow=2.03)を99~107%生成し、残留した。	5.06 <sup>*3</sup>	ジフェニルシランジオールからの類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	34

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1640変	ジフェニルシランジオール (947-42-2) 3-2638 	—	2.0 (HPLC法) 2.03 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	高濃縮性ではない	なし	36
1715	1, 2, 5, 6-テトラブロモシクロオクタン (3194-57-8) 3-2254 	審議済 (難分解性) (平成17年9月30日) BOD : -16, 2, -10 (1) <sup>*2</sup> G C : 1, 0, 1 (1)	5.24 <sup>*3</sup>	ピーク1 定常状態における濃縮倍率 1区: 3900倍 2区: 2600倍 ピーク2 定常状態における濃縮倍率 1区: 4700倍 2区: 2800倍 脂質含有率 開始前: 5.07% 終了後: 5.09%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	39
1754	1, 4-ジクロロブタン (110-56-5) 2-0061 $\text{Cl}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : 7, 12, 3 (7) G C : -1, 0, -1 (0) <sup>*2</sup>	2.5 (HPLC法) 2.81 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	42
1755	1, 1-ビス (4-ヒドロキシフェニル) -シクロヘキサン (843-55-0) 4-0044 	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : -1, 0, -2 (0) <sup>*2</sup> HPLC: 1, 1, 3 (2)	5.00 <sup>*3</sup>	定常状態における濃縮倍率 1区: 29倍 ばく露期間における濃縮倍率 2区: <32~42倍 脂質含有率 開始前: 5.4% 終了後: 5.1%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	45
1757	N, N, N', N'-テトラグリシジル-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン (28768-32-3) 4-0112 	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : -8, -10, -10 (0) <sup>*2</sup> HPLC: 73, 68, 59 (66)	3.0 (pH7.0) (HPLC法) 2.53 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	48

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1766	<p>2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ペンチルフェノール (25973-55-1) 5-3604</p> 	<p>審議済 (難分解性) (平成17年11月18日) 試験結果については、企業提供 データのため非公開</p>	7.25 <sup>*3</sup>	<p>試験結果については、企業提供 データのため非公開 判定結果 保留;第3濃度試験指示 (H17年 11月 18日)</p> <p>(第3濃度区試験) 定常状態における濃縮倍率 3区(0.01 μg/L) : 2400倍 脂質含有率 開始前:2.38% 終了後:4.14% (再試験) 定常状態における濃縮倍率 1区(0.1 μg/L) : 940倍 ばく露期間における濃縮倍率 2区(0.01 μg/L) : 620~1800 倍 脂質含有率 開始前:3.75% 終了後:4.62%</p>	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	51

- \*1 BODは窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。
- \*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。
- \*3 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値
- \*4 フラスコ振とう法による予備値

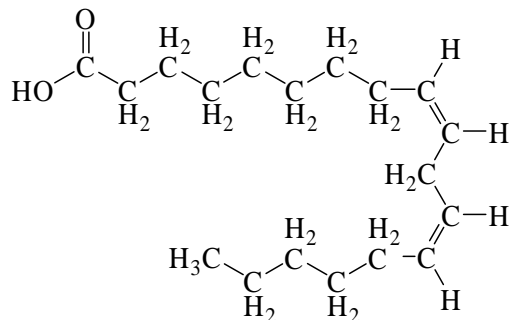
整理番号 K-1258E (NEDO 352, 2-0217)	分解度試験	分解度試験	分解度試験	
1-ペンタノール (71-41-0)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日	
	試験期間 18. 8. 28~18. 11. 28	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .	
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  CH <sub>3</sub> (CH <sub>2</sub> ) <sub>4</sub> OH  分子式 C <sub>5</sub> H <sub>12</sub> O 分子量 88.15	試験濃度	試験濃度	試験濃度	
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間	
	試験結果 間接	BOD 87, 95, 94 (92)%	試験結果 間接	
	試験結果 直接	TOC 100, 98, 99 (99)% GC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 直接	
純度*1 99.6%	外観 無色透明液体			
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 22g/L(25℃)*2	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	
融点*1 -79℃		判定	判定	
沸点*1 137.5℃	1-オクタノール/水分配係数	備考	備考	
比重*1 d <sub>4</sub> <sup>20</sup> 0.815				
LD50	安定性	1. 回収率 (水+被験物質)系 98% (汚泥+被験物質)系 95%		
IRチャートの有無 (有) ・ 無		2. 実施機関 ・ 広栄テクノ株式会社		
用途*3 合成樹脂、添加剤 (樹脂用) 等				
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 10万~100万 t未滿				
試料 購入先 和光ケミカル				
経済産業公報発表年月日	年 月 日			

\*1 和光ケミカル添付資料による。 \*2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。

\*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 1 2 5 8 E の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1 - ペンタノール (71-41-0)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{OH}$	2-0217 (K-1258E)	標準(4W) 2006年実施 BOD 87, 95, 94 (92) TOC 100, 98, 99 (99) G C 100, 100, 100(100)					
1 - オクタノール (111-87-5)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{OH}$	2-0217 (K-1258C)	標準(4W) 2002年実施 BOD 89, 90, 88 (89) TOC 99, 99, 99 (99) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (2002)				
2 - オクタノール (123-96-6)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{CH}_2\overset{\text{OH}}{\text{C}}\text{HCH}_3$	2-0217 (K-1258B)	標準(2W) 1999年実施 BOD 75, 76, 77 (76) TOC 96, 95, 96 (96) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (1999)				
トリデシルアルコール (112-70-9)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{12}\text{OH}$	2-0217 (K-347)	標準(2W) 1978年実施 BOD 77, 123 (100) G C 100, 100 (100)	良分解性 (1978)				
1 - ヘキサデカノール (36653-82-4)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{15}\text{OH}$	2-0217 (K-1258D)	標準(4W) 2001年実施 BOD 73, 94, 92 (86) G C 86, 100, 100 (95)	良分解性 (2001)				
1 - ヘキサコサノール (506-52-5)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{24}\text{CH}_2\text{OH}$	2-0217 (K-537)	標準(4W) 1982年実施 BOD 72, 76, 76 (75) G C 96, 97, 97 (97)	良分解性 (1982)				

整理番号 K-1779 (NEDO 346, 2-0609)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																		
(Z, Z)-9, 12-オクタデカジエン酸 (60-33-3)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日																		
	試験期間 18. 9. 19~18. 11. 24	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																		
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																		
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C <sub>18</sub> H <sub>32</sub> O <sub>2</sub> 分子量 280.45	試験濃度	試験濃度	試験濃度																		
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																		
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																		
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																		
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">試験結果</td> <td>間接</td> <td>BOD 84, 79, 78 (80)%</td> <td rowspan="2">試験結果</td> <td>間接</td> <td></td> <td rowspan="2">試験結果</td> <td>間接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直接</td> <td>GC 100, 100, 100(100)%</td> <td>直接</td> <td></td> <td>直接</td> <td></td> </tr> </table>	試験結果	間接	BOD 84, 79, 78 (80)%	試験結果	間接		試験結果	間接		直接	GC 100, 100, 100(100)%	直接		直接						
試験結果	間接		BOD 84, 79, 78 (80)%	試験結果		間接			試験結果	間接											
	直接	GC 100, 100, 100(100)%	直接			直接															
純度*1 99.8%	外観 淡黄色透明液体																				
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.2%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 2 mg/L 以下(25℃)	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																		
融点*2 -12℃		判定	判定																		
沸点*2 230℃(16mmHg)	1-オクタノール/水分配係数	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 97% (汚泥+被験物質)系 94% 2. 実施機関 ・株式会社 JCL バイオアッセイ 3. 特記事項 ・(汚泥+被験物質)系の GC クロマトグラム上には変化物ピークは認められなかった。																			
比重*2 d <sub>4</sub> <sup>22</sup> 0.9007																					
LD50	安定性																				
IRチャートの有無 (有) ・ 無																					
用途*3 繊維用添加剤等																					
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満		・(水+被験物質)系において GC 分析で被験物質は消失し、変化物ピークが 13 本検出され、その内の 7 本は被験物質より炭素鎖の短い飽和脂肪酸 (C <sub>4</sub> , C <sub>6</sub> , C <sub>7</sub> , C <sub>8</sub> , C <sub>10</sub> , C <sub>12</sub> , C <sub>16</sub> ) の標品の保持時間と一致した。また、各ピークの検出率は 1%未満であった。試験液の前処理において、減圧乾固を行っていることから炭素数の小さい脂肪酸は揮発し、物質収支はとれないと考えられる。 ・28日後の DOC 検出結果 <table border="1" data-bbox="1344 1308 1971 1452"> <thead> <tr> <th></th> <th>(水+被験物質)系</th> <th colspan="3">(汚泥+被験物質)系</th> <th>理論量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量(mgC)</td> <td>12.4</td> <td>1.0</td> <td>0.9</td> <td>1.2</td> <td>23.1</td> </tr> <tr> <td>率(%)</td> <td>53</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系			理論量	量(mgC)	12.4	1.0	0.9	1.2	23.1	率(%)	53	4	4	5	-
	(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系			理論量																
量(mgC)	12.4	1.0	0.9	1.2	23.1																
率(%)	53	4	4	5	-																
試料 購入先 和光純薬工業																					
経済産業公報発表年月日 年 月 日																					

\*1 和光純薬工業添付資料による。

\*2 The Merck Index(13th edition)による。

\*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。



K-1779の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
22-トリコセン酸 (65119-95-1)	$\text{CH}_2=\text{CH}(\text{CH}_2)_{20}\text{COOH}$	2-0609 (K-1094)	標準(4W) 1994年実施 BOD 96, 91, 91 (93) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (1994)				
オレイン酸 (112-80-1)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{CH}=\text{CH}(\text{CH}_2)_7\text{COOH}$	2-0975 (K-1113)	標準(4W) 1993年実施 BOD 90, 72, 72 (78) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (1993)				
(Z, Z)-9, 12- オクタデカジエン酸 (60-33-3)		2-0609 (K-1779)	標準(4W) 2006年実施 BOD 84, 79, 78 (80) G C 100, 100, 100(100)					

整理番号 K-1780 (NEDO 347, 2-1206)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																				
N-メチルアミノ酢酸ナトリウム (4316-73-8)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日																				
	試験期間 18.11.20~19.2.23	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																				
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮																				
構造式(示性式)・物理化学的性状  $\begin{array}{c} \text{ONa} \\   \\ \text{O}=\text{C} \\   \\ \text{CH}_2-\text{NHCH}_3 \end{array}$ 分子式 C <sub>3</sub> H <sub>6</sub> NNaO <sub>2</sub> 分子量 111.08	試験濃度	試験濃度	試験濃度																				
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																				
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																				
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																				
	試験結果	試験結果	試験結果																				
純度*1 43.1%(ケルダール法)	間接 BOD 83, 64, 69 (72)%	間接	間接																				
外観 薄い黄色の液体 (供試試料として)	直接 TOC 97, 84, 86 (89)%	直接	直接																				
不純物*1 (物質名, 含有率)	HPLC 100, 100, 100(100)%																						
水 56.9%																							
融点 測定不可	審査部会 第66回	審査部会 第 回	審査部会 第 回																				
沸点 測定不可	19年 7月27日開催	年 月 日開催	年 月 日開催																				
密度 測定不可	判定	判定	判定																				
LD50	備考																						
IRチャートの有無 (有)・無	1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%  ※試験液を直接分析機器に導入。  2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構  3. 特記事項 ・窒素三態(アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素)の分析を実施した。その結果、(汚泥+被験物質)系の平均生成率はアンモニア態窒素が40%、亜硝酸態窒素が40%、硝酸態窒素が1%であった。  ・TODは窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。																						
用途*3 洗剤等	・窒素三態別のBOD分解度(%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NH<sub>3</sub></td> <td>131</td> <td>102</td> <td>110</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>NO<sub>2</sub></td> <td>83</td> <td>64</td> <td>69</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>NO<sub>3</sub></td> <td>75</td> <td>58</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>				1	2	3	平均	NH <sub>3</sub>	131	102	110	114	NO <sub>2</sub>	83	64	69	72	NO <sub>3</sub>	75	58	63	65
	1	2	3	平均																			
NH <sub>3</sub>	131	102	110	114																			
NO <sub>2</sub>	83	64	69	72																			
NO <sub>3</sub>	75	58	63	65																			
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t未滿																							
試料 購入先 東京化成工業																							
経済産業公報発表年月日 年 月 日																							

\*1 東京化成工業添付資料による。

\*2 供試試料の成分組成より。

\*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-1780の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
アミノ酢酸 (56-40-6)	$\begin{array}{c} \text{OH} \\   \\ \text{O}=\text{C} \\   \\ \text{CH}_2-\text{NH}_2 \end{array}$	9-0077 (K-1163)	標準(2W) 1993年実施 BOD 76, 78, 82 (79) TOC 96, 99, 100 (98) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1993)				
N-メチルアミノ 酢酸ナトリウム (4316-73-8)	$\begin{array}{c} \text{ONa} \\   \\ \text{O}=\text{C} \\   \\ \text{CH}_2-\text{NHCH}_3 \end{array}$	2-1206 (K-1780)	標準(4W) 2007年実施 BOD 83, 64, 69 (72)* TOC 97, 84, 86 (89) HPLC 100, 100, 100 (100)					

\* TOD は窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。

整理番号 K-1783 (NEDO 355, 9-1161)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																			
2-ブテン-1, 4-ジオール (110-64-5)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日																			
	試験期間 18. 9. 4~19. 2. 6	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																			
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																			
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  HO-CH <sub>2</sub> -CH=CH-CH <sub>2</sub> -OH  分子式 C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub> 分子量 88.11	試験濃度	試験濃度	試験濃度																			
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																			
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																			
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																			
	試験結果 間接 BOD 65, 55, 52 (57)% 直接 TOC 85, 84, 71 (80)% G C 86, 84, 71 (80)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接																		
純度*1 99.5%	外観 無色透明液体																					
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.5%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 100 g/L 以上 (25°C)	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																			
融点*2 7°C		判定	判定																			
沸点*2 141~149°C (20mmHg)	1-オクタノール/水分配係数	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・(水+被験物質)系、(汚泥+被験物質)系共に GC クロマトグラム上に被験物質以外のピークは認められず、DOC 残留率と被験物質残留率はほぼ一致した。 ・逆転条件予備試験結果(4週間) (非 CLP 試験)	備考																			
比重*1 d <sub>20</sub> <sup>20</sup> 1.0718																						
LD50*3 1,250mg/kg(oral, rat)	安定性																					
IRチャートの有無 (有) ・ 無																						
用途*4 写真・複写機用添加剤																						
生産量*4 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">分解度 (%)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOC</td> <td>98</td> <td>97</td> <td>100</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>G C</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>			分解度 (%)				1	2	3	平均	TOC	98	97	100	99	G C	100	100	100	100
	分解度 (%)																					
	1	2	3	平均																		
TOC	98	97	100	99																		
G C	100	100	100	100																		
試料 購入先 東京化成工業		(培養期間 18.10.17~18.11.14)																				
経済産業公報発表年月日 年 月 日																						

\*1 東京化成工業添付資料による。

\*2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine) (11/2002)による。

\*3 東京化成工業 MSDS による。

\*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-1783の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2-ブテン-1,4-ジオール (110-64-5)	HO-CH <sub>2</sub> -CH=CH-CH <sub>2</sub> -OH	9-1161 (K-1783)	標準(4W) 2007年実施 BOD 65, 55, 52 (57) TOC 85, 84, 71 (80) G C 86, 84, 71 (80)  逆転予備(4W) 2007年実施 TOC 98, 97, 100 (99) G C 100, 100, 100 (100)					
1,2-ブタンジオール (584-03-2)	$\begin{array}{c} \text{OH} \\   \\ \text{CH}_3\text{-CH}_2\text{-CH-CH}_2\text{-OH} \end{array}$	2-0235 (K-1071)	標準(4W) 1992年実施 BOD 91, 99, 99 (96) TOC 93, 93, 91 (92) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1992)	1992年実施 -0.34 (フラスコ振とう法)			
cis-3-ヘキセン-1-オール (928-96-1)	CH <sub>3</sub> -CH <sub>2</sub> -CH=CH-CH <sub>2</sub> -CH <sub>2</sub> -OH	2-2393 (K-1302)	標準(4W) 1998年実施 BOD 85, 89, 86 (87) TOC 97, 97, 97 (97) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1998)				